

気仙沼高等学校

校訓 究理創造 和親協同 至誠励業



1 基本データ

創立：平成30年
 課程・学科：全日制課程・普通科
 生徒数：624名
 所在地：〒988-0051
 気仙沼市常楽 130
 TEL：0226-24-3400
 FAX：0226-24-3408

ホームページアドレス：
<https://kesennuma-h.myswan.ed.jp>
 電子メールアドレス：
 kesennuma-h@od.myswan.ed.jp
 主な交通機関：
 JR 気仙沼線BRT（高速バス輸送システム）で
 「不動の沢」下車 徒歩10分

2 学校の特徴

キャッチフレーズ

飛翔の翼 世界へと

勉強、部活動、学校行事、交流事業など、日々あらゆる場面を通して、21世紀を生き抜く力を確実に身につけ、世界を舞台に活躍する人材を育てます。

(1) 学校の概要(沿革、環境、施設等)

本校は、昭和2年に県内9番目の旧制中学校として開校した旧気仙沼高校と、大正12年に町立実科女学校として開校した旧鼎が浦高校が、平成17年4月に再編統合され、さらに平成30年度には気仙沼西高校との統合を経て開校した学校です。3つの学校の100年に及ぶ良好な伝統を継承し、活力ある教育活動や先進的な取り組みを展開して、地域の期待にこたえられる学校づくりを進めます。大学進学を中心とした多様な進路の達成に向けた学習指導(45分7時間授業)や部活動の奨励を行っています。また、国際交流・地域文化交流に積極的に取り組み、英語教育の充実を図りました。震災後は、支援事業を契機として他県の高校や各種団体との交流活動を積極的に行い、平成28年度より令和2年度まで文部科学省のスーパーグローバルハイスクール(SGH)に指定され、令和3年度からはSGHネットワーク校として、海を素材とするグローバルリテラシーの育成を目指しています(平成30年度ESD大賞文部科学大臣賞受賞)。

(2) 教育方針

- I 新しい時代に対応できる学力の形成を図り、創造的な能力の啓発に努め、国家及び社会の形成者としての資質を養う。
- II 心身を鍛え、豊かな情操と協同の精神を培い、個性の伸長を図る。
- III 地域の自然や文化を尊び、国際的視野に立ち、志の実現を自ら目指し学び続ける人材を育成する。

(3) 教育課程の特徴

本校の教育課程は、一人一人の進路目標を第一に考えた教育課程です。大学入試制度の変更にも十分対応しています。1年生は全クラス共通の授業で、学習の基礎・基本をしっかり身につけます。令和4年度入学生から、2年生は、創造人文類型、創造理数類型の2類型に分かれて学習しています。創造人文類型は国語で、創造理数類型は理科で単位数を増やしています。また、両類型とも課題研究で課題解決型学習に多く取り組みます。3年生は、具体的な進路希望に応じた科目を選択し、学習します。

(4) 行事・生徒会活動・部活動

主な行事予定は以下のとおりです。

- 4月 生徒会入会式、部紹介
- 5月 生徒総会、高校総体壮行式
- 7月 球技大会
課題研究Ⅱ・総合的な探究の時間
最終発表会
- 8月 文化祭
- 10月 運動祭
英語スピーチコンテスト
- 11月 生徒総会
- 12月 修学旅行(2年)
- 1月 地域社会研究・課題研究・総合的な探究の時間全体発表会

運動部は16部、文化部は15部あり、毎日質の高い活動が展開されます。令和4年度は、フェンシング部が全国高等学校総合体育大会個人対抗男子エペで第1位となりました。さらに、第47回全国高校選抜大会では団体フルーシで男子準優勝、女子3位という結果を残すなど、全国屈指の強豪です。文化部では、美術部が第23回高校生国際美術展で佳作に入賞、文芸部が第12回牧水・短歌甲子園で団体戦準優勝の結果を残しました。さらにマンドリン部は第46回全国高等学校総合文化祭器楽・管弦楽部門に出場しました。その他の活動では、高校生地産地消お弁当コンテスト(宮城県主催)県知事賞を受賞し商品化されました。学校行事はいずれも生徒主体で運営され、笑顔と活気に満ちています。

(5) 卒業生の進路状況

進路一覧(過去3年間、進学者・就職者数)

進路	R4	R3	R2
国公立大学	41	32	33
国公立短大	2	3	1
私立大学	89	102	100
私立短大	6	16	10
専各学校	50	59	61
就職	19	8	6
その他	9	17	23
卒業生計	216	237	234

主な進路先(令和5年3月卒業生)、
 ()内は人数 (1)は省略。

<国公立大学>

東北大学、弘前大学、岩手大学(4)、宮城教育大学(5)、秋田大学、山形大学(6)、福島大学(2)、茨城大学(2)、筑波大学、埼玉大学、お茶の水女子大学、新潟大学、宮城大学(2)、釧路公立大学、青森公立大学(3)、岩手県立大学(3)、秋田県立大学(2)、会津大学、東京国立大学(2)、横浜市立大学

<私立大学>

早稲田大学、明治大学(2)、青山学院大学、中央大学(2)、学習院大学、國學院大学、明治学院大学、成蹊大学、獨協大学、東洋大学(2)、大東文化大学、東海大学(2)、神奈川大学、立命館大学(2)、近畿大学、龍谷大学、東北学院大学(12)、東北福祉大学(7)、東北工業大学、宮城学院女子大学(6)、東北医科薬科大学(2)、石巻専修大学、尚絅学院大学(3)、東北文化学園大学、仙台大学(4) 他

<専修各種学校>

気仙沼市立病院附属看護専門学校(11)、葵会仙台看護専門学校(2)、宮城高等歯科衛生士学院、東京法律専門学校(4)、東北電子専門学校(3) 他

<就職>

国家公務員一般職員、同税務職員、宮城県一般事務職員、同学校事務職員、同警察官、気仙沼市職員、東京消防庁職員、イオン東北(株)、(株)阿部長商店 他

3 学校魅力発信

(1) 生徒の活躍

フェンシング部 全国で大活躍!

第47回全国高等学校選抜フェンシング大会が令和5年3月24～26日まで、長崎県島原市で開催され、本校フェンシング部が男子団体フルーレで準優勝、同団体エペでベスト8、女子団体フルーレで3位入賞と好成績を残しました。



マンドリン部2年連続全国へ!



令和5年7月29～30日に大阪府吹田市で開催される「全国高校ギター・マンドリン音楽コンクール」に、本校マンドリン部が主催団体録音審査を通過し、旧県が浦高校時代も含めて初出場となること

が決定しました。マンドリン部は令和4年度も「第46回全国高等学校総合文化祭器楽・管弦楽部門」に出場しており、2年連続の全国級大会出場となります。

文芸部牧水短歌甲子園準優勝!

令和4年8月20～21日の2日間、宮崎県日向市中央公民館で「第12回牧水・短歌甲子園」が開催され、本校文芸部は団体準優勝、個人で俵万智賞を受賞しました。文芸部は、全国高校生短歌大会にも毎年出場しており、昨年度は個人で話題作品賞を受賞しました。



(2) 主な学校行事

球技大会

例年7月上旬に、2日間にわたって行われ、バスケットボール、バレーボール、サッカー、ドッジビーの各種目（実施種目は毎年検討）を行い、クラスごとに競い合います。クラスで一致団結し、楽しそうに競技を行う姿が印象的です。



気高祭

毎年8月最終金・土曜日に開催されます。文化部各部の発表・展示、ピアノバトル、動画コンテスト等、充実した企画が行われます。ハイクオリティな文化部の発表・展示や、工夫が凝らされたクラス動画を全校生徒が楽しめます。

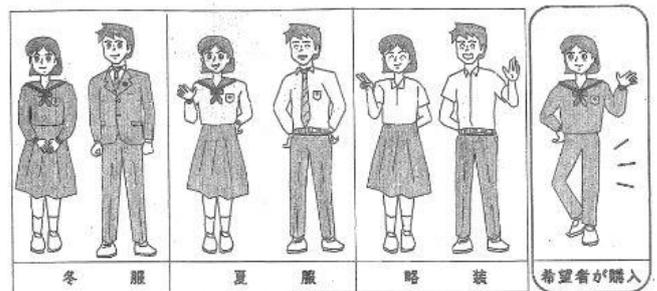


探究活動発表会

本校では1学年が「地域社会研究」2学年が「課題研究」と、生徒全員が探究学習に取り組んでいます。その成果を7月と1月に公開で発表しています。アドバイザーとして大学の先生方や地域のNPO法人の皆さんをお招きし、3年生が今までの探究の成果を発表します。



(3) 制服紹介



本校 荒木校長作 学校紹介パンフ『日々は気高』より

2005年の統合に伴い、スーツタイプの男子制服を制定しました。女子は、長年地元で支持されてきた旧県が浦高校の制服デザインを引き継いでいます。また、女子生徒向けスラックスも導入しています。

4 在校生からのメッセージ

高校生活のみなさんの目標はなんですか？勉強や部活動等、人それぞれのはずです。気高生の多くは自分の目標達成のために全力で取り組んでおり、先生方も私たちのことを支えてくれます。目標達成の機会と環境は整っています。私自身周りの雰囲気によって、目標達成や日々の活動を頑張っています。皆さんも頑張れる高校生活を送ってください!

生徒会長 東 祐宏 (3年)



気仙沼高校では、勉強や部活、交友関係、探究学習など様々な面を充実させることができます。生徒たちは志を持ち、意欲を持って学校生活を送ることができています。また、進路実現、目標達成の機会やサポートが整っているのも魅力的です。高校生活を気仙沼高校で実りのあるものにしていきましょう。

生徒会副会長 菊田 帆花 (3年)